

広島県尾道市立因島南中学校

(概要)

- ・ 所在地 広島県尾道市因島土生町 1172 番地 1
- ・ 生徒数 (クラス数) : 248 名 (10 クラス)
- ・ 建物及び構造概要 (構造 階 面積 事業費) :
校舎 RC造、3階建、5,935 m²
屋内運動場 RC造、屋根S造、2階建、1,406 m²
- ・ 事業費 23億円
- ・ エコスクールの事業タイプ :
太陽光発電型、その他新エネルギー型、省エネルギー・省資源型、木材利用型、
資源リサイクル型、その他
- ・ 整備期間 : (検討期間 : H19.5~H20.3、工事時期・期間 H20.9~H22.2)
- ・ 要旨

因島南中学校は、旧県立高校の跡地に因島南部地域の3中学校を統合し平成22年4月に新設開校された学校である。

校舎の設計にあたり、周辺のまちづくりや環境を大切にし、省エネルギーや維持管理の容易さなどに十分に配慮した学校を目指した。また、教室等の通風や採光など、良好な環境や利便性について配慮しながら検討を行った。

工事は平成18年度の旧高校校舎等の解体後、平成19年度から土地造成、平成20年度から校舎等の建設を実施し、平成22年2月に全ての整備が完了した。

(エコスクール化の内容)

屋内運動場屋根に4kWの太陽光発電パネルを設置し、発電した電力を活用するとともに、駐車場にソーラー付屋外灯を設置した。

保健室には、換気用チューブを地中に埋設し、地中の冷気、暖気を利用した新鮮な空気を供給するシステムを採用し、室環境の確保を図った。

また、高効率照明ランプ(Hfランプ)、明るさセンサー・人感センサーなどの節電型器具や節水型器具を採用するとともに、トイレ洗浄水やグラウンド散水に井水を利用している。

このほか、校舎・屋内運動場の内装に間伐材や光庭の床に人工木材を使用するとともに、校舎屋根面の一部に井水を散水し夏場の外気負荷の低減を図るシステムの採用や、光庭を利用した自然通風やトップ

ライトによる自然採光を取り入れている。



学校の全景



屋内運動場の屋根に太陽光発電パネルを設置



校舎の内装に間伐材を利用



高効率照明ランプ及び初期照度補正機能付き照明器具を採用した教室



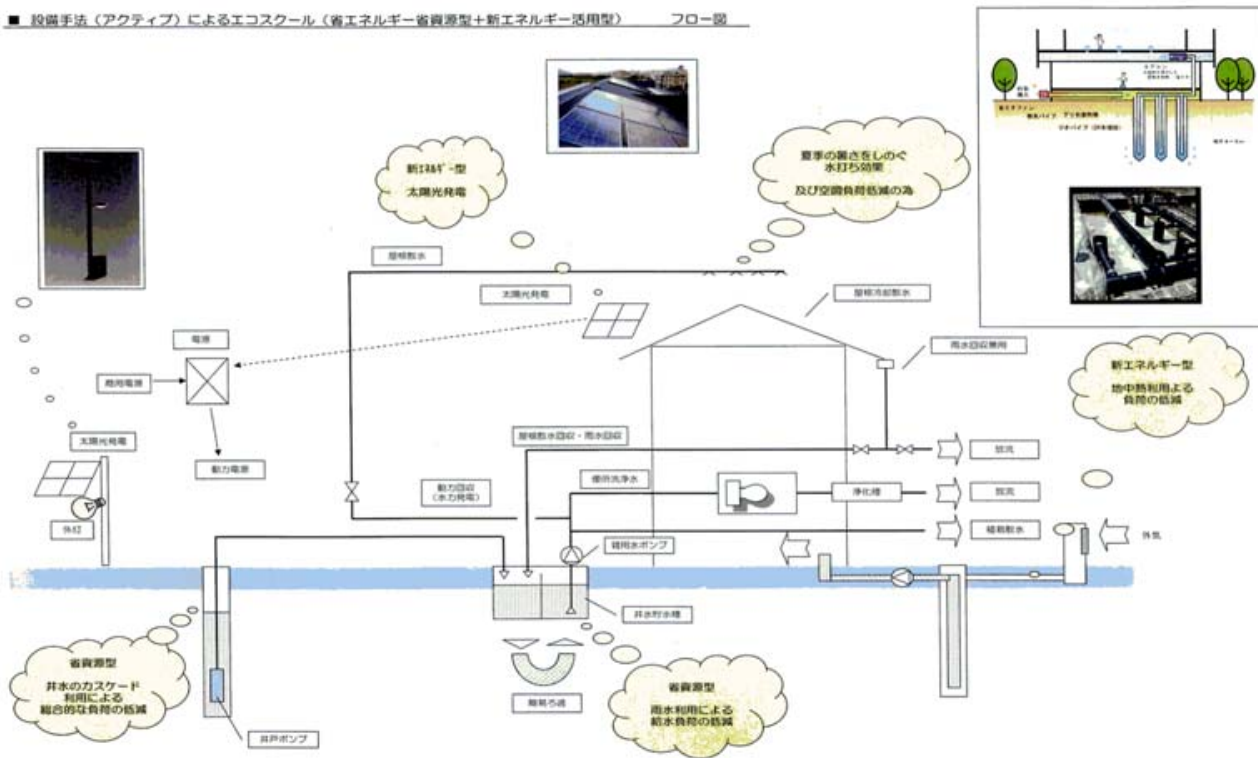
人工木材を採用した、自然通風及び自然採光のための光庭



地中熱換気システムを取り入れた保健室



地中熱換気システム用パイプの埋設工事



エコスクールフロー図

（エコスクール化の効果）

新設校のため、エコスクール化による、効果比較は出来ないが、同規模校に比べて、水道使用料は、少なくなっている。

また、太陽光発電によるCO₂の削減効果は、開校後6ヶ月で約1,162kgの削減量となっている。

(環境・エネルギー教育への活用)

校舎に取り入れられているエコシステムについて、朝礼・集会等で繰り返し説明を行い、生徒の理解を深めた。

また、校舎内に設置されている、太陽光発電状況のディスプレイや屋根散水用の温度表示板により、日常的な意識付けを行っている。



太陽光発電状況のディスプレイ



室内外の温度表示板